

学校長あいさつ

沖縄県立美咲特別支援学校は、昭和 47(1972) 年 1 月に琉球政府立中部養護学校として設立認可され、3 月には琉球政府立美咲養護学校と校名を変更し、5 月 10 日に開校式を迎えました。

当時は、小学部児童 22 名、中学部 14 名、職員 15 名でスタートした小さな学校でした。そして、開校の 5 日後に、沖縄県が祖国復帰を果たし、「沖縄県立美咲養護学校」に校名を変更しています。その後、昭和 51 年には高等部設置が認可され、平成 13 年には幼稚部が設置されました。

開校から今年で 52 年目を迎え、今年度 5 月現在、幼児児童生徒数 403 名、学級数 86 学級の県内で最も大きな特別支援学校となっています。

さて、本校では、その校名にちなみ『きれいに咲こうよ、咲かそうよ』を教育活動のキャッチフレーズにしています。

「咲こうよ」には子どもたちの主体性が、「咲かそうよ」には、教職員はもちろんのこと、保護者や地域の方々の温かい支援の思いが込められています。その思いを日々忘れず、子どもたち個々の自立と社会参加に向けた一步一步の歩みのために学校と家庭・地域社会が寄り添っていければ幸いです。

本校は、特別支援教育に係る地域のセンター的役割も担っております。就学前の幼児児童生徒の支援・指導についての相談や、学校見学等にも対応しています。お子様の就学・進学にお悩みの際は事前にご連絡の上、お気軽にご相談ください。

また本校には、本校高等部以外に美里高校分教室と教育センター分教室の 2 つの分教室を開設しております。美里高校分教室は「同年代が同一環境で共に送る学校生活」のコンセプトの下、1・2 年生各 16 名及び 3 年生 4 名の計 36 名が、また教育センター分教室では「企業就労を目指した職業教育の充実」のコンセプトの下、2 年生 10 名および 3 年生 10 名の計 20 名の生徒たちの在籍があります。各分教室においても、本校同様、将来の「社会参加・自立・貢献」を目指して日々の学びに取り組んでいます。

これまで本校の教育活動に関わっていただいた方々の思いを受け継ぎ、将来、本校の主役である子供たちが、それぞれにあった形で、社会参加・社会貢献・自立の花をきれいに咲かせられるよう、職員一同、心をつなげて日々教育活動の充実に努めてまいります。保護者、地域、関係機関の皆さまにおかれましては、今後とも本校へのご理解・ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

令和 6 年 5 月 1 日

沖縄県立美咲特別支援学校

校 長 内間秀樹